

第 12 回 itSMF Japan Newsletter Contribution Award

★受賞者決定★

2019 年 1・4・7 月号の各号会報誌「Newsletter」に掲載いたしました寄稿のなかから、厳正な審査の結果、次のように、受賞寄稿が決定しました。
ご寄稿いただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

最優秀賞

該当者なし

優秀賞 (賞品 フリー部門 QUO カード 2 万円・テーマ部門 QUO カード 4 万円)



■ 小淵 淳二 氏 フリー部門 (2019. 4 月号掲載)

「ITIL® Foundation ITIL 4 Edition の活用アプローチ
～ ITIL 4 をどう活用すればいいのか?～」

選評: ITIL® V3 フレームワークの問題点を分析するとともに、デジタルにも適用できる ITIL 4 の新たなモデルとフレームワークの特徴と優位性を的確に紹介しています。どのように ITIL 4 を活用すべきかについて、具体的なガイダンスを示している点も高く評価できます。寄稿テーマについての問題意識に沿った構成・論拠も明確です。



■ 倉持 信吾 氏 宮城 博計 氏 テーマ部門 (2019. 7 月号掲載)

「人の特性構造化とサービスマネジメントにおける原則の適用

～複数フレームワークの協働を利用し重大障害撲滅を目指した実施事例～

選評: 現場の課題に対して、非常に丁寧かつ詳しい分析・調査が行われていること、分析手法やフレームワークを活用して課題の解決に向けて取り組んでいることが、非常に分かりやすく表現されています。現場の継続的な改善に有益な活用すべき内容であり、高く評価できます。



特別賞 (賞品 フリー部門 QUO カード 1 万円・テーマ部門 QUO カード 2 万円)



■ 三宅 由美子 氏 フリー部門 (2019. 4 月号掲載)

「ITIL® V3 の問題意識と ITIL 4 による解決
～僕たちはこんな ITIL® を待っていた～」

選評: サービスマネジメントの本質が製品品質から顧客価値 (顧客体験) に変異する中、ITIL 4 が時代に追い付き、我々に必要なものであることを訴えています。



■ 伊藤 俊治 氏 フリー部門 (2019. 7 月号掲載)

「サービス・ドミナント・ロジックを使って ITIL 4 を読み解く」

選評: ITIL 4 のモデル、プラクティス、サービスバリューチェーンがサービス・ドミナント・ロジックの考えに基づいていることを明確に説明し、ITIL 4 の設計思想の根幹を理解することができます。



■ 小澤 一友 氏 フリー部門 (2019. 7 月号掲載)

「東日本大震災を振り返る ITSM アンケートのご報告
～「今こそ日本の ITIL® 民に問います！」～」

選評: 社会的な問題を ITSM の視点で調査・整理しようという試みは新しく、読者の興味を引く内容になっています。独自にアンケートを行うなど、意欲的に取り組みを行っている点も評価できます。

初稿賞 (賞品 QUO カード 2 万円)

■ 倉持 信吾 氏 宮城 博計 氏 テーマ部門 (2019. 7 月号掲載)

「人の特性構造化とサービスマネジメントにおける原則の適用

～複数フレームワークの協働を利用し重大障害撲滅を目指した実施事例～

■ 三宅 由美子 氏 フリー部門 (2019. 4 月号掲載)

「ITIL® V3 の問題意識と ITIL 4 による解決 ～僕たちはこんな ITIL® を待っていた～」